



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか 第219号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp 令和2年(2020年)1月6日(月曜日)



Challenge and gratitude

毛筆

「Eジャーナルしずおか 第219号」 : 沼津東高校 2年 山内 由貴
「挑戦と感謝」 : 沼津東高校 2年 富樫 みさと
「challenge and gratitude」 : 沼津東高校 2年 遠山 夏生

【新たな挑戦の年にしよう】

皆様にはお元気で新春をお迎えのことでしょう。

令和2年を迎え、御自身が歩んで来られた1年を振り返り、気持ちも新たにされていることと思います。昨年は国内各地で猛暑や大雨、台風など自然の脅威を感じた年でもありました。

一方、ラグビーW杯が国内で開催され、本県のエコパスタジアムでの日本対アイルランド戦では、大逆転で日本チームが勝利した様子は今でも鮮明に思い出されます。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、本県では自転車競技が行われます。各国の選手が大舞台で挑戦し、感動を与えてくれる姿に感謝し、業務においても挑戦や感謝の気持ちを忘れずとの思いから、私の本年のテーマは「挑戦と感謝」と致しました。

子どもたちが、夢と志を持ち可能性に挑戦する力を付けるためにも、静岡県では「有徳の人」すなわち個人として自立し、人との関わり合いを大切に、社会の一員として参画し、行動する人の育成を目指しています。そのためには文・武・芸、三道の鼎立が極めて大切であり、知性を高める学習や技芸を磨く実学、学びを支える教職員、家庭、地域の方々と連携して、社会総がかりで進めていくことが必要です。また、本県では障害のある人、海外から移住された方々と共に学び、共生社会の実現を目指しています。

皆様にとって実りの多い1年になりますことを祈念しております。



静岡県教育委員会 教育長 木苗 直秀

実践NOTE 435

「長泉町の強み」を生かした食育の推進

長泉町立長泉小学校
栄養教諭 鈴木 紀子

9年間食べる思い出の味

長泉町は給食センターで小学校・中学校5校分、約4300食を作っています。1人の子どもが9年間同じセンターの給食を食べるといことが、大きなやりがいにつながっています。献立は年間計画を基に、月に1回、県内で獲れる旬の魚を取り入れた「県魚の日」を設けたり、季節感や子どもたちが楽しみやすいメニューを取り入れたりするなどの工夫をしています。そして、素材の味が引き立つおいしい給食を作るため、だしにこだわり、うま味をきかせて作ることで力を入れています。衛生管理等にも十分配慮しながら、調理員とコミュニケーションをよく取り、学校からの意見も参考に調理を工夫しています。子どもたちには、給食をおいしく食べ、体



チームティーチングで行う授業

けではなく心の栄養も満たし、健康に成長してほしいと願っています。

給食で育てる「郷土愛」と「感謝の心」

月に1回「長泉の日」を設け、特産品である「あしたか牛」を使用する他、地場産物を多く取り入れた献立で、郷土の味に親しむ機会としています。また、年に数回、生産者と児童生徒と一緒に会食する「ふれあい給食会」を設けています。楽しく会食する中で、生産者がどんな思いで農作物を育てているのかを知る機会となり、子どもたちの食や生産者に対する感謝の心を育んでいます。

長泉町では、食に関する指導の年間計画に沿って、町内全ての小・中学校で2人の栄養教諭が指導をしています。各学年の実態に合わせ、教科等と絡めた内容を設定し、計画的・継続的に実践しています。全ての小学校で同じ指導を受けて中学校へ進めることは、指導のつながりという点で大きな強みです。さらに、中学校の家庭科との連携として、授業



ふれあい給食会

長泉町には、あしたか牛の他に、四ツ溝柿、長泉メロン、大和芋、長泉白ネギの特産品があります。この5品を基にした「トクサンジャー」という

キャラクターがあり、就学前から紙芝居や調理実習などを通して、親しまれています。また、長泉町には給食費以外に地場産品購入費があり、あしたか牛や長泉メロンなどの高価な特産品を取り入れることが可能です。このような給食は大変好評で、長泉町の強みを生かした特色ある取り組みと言えます。

今後も、積極的に地域や行政と連携したさまざまな取り組みを行い、郷土愛や感謝の心を育てていきたいです。

食育は教科や給食時間だけに留まりません。体験的な活動を含む行事は、かっこうの食育の場です。小学校6年生の修学旅行前にバイキング指導をしました。修学旅行から戻ってきた児童は、「取ったものは残さず、栄養バランスも考えて食べたい」ともおいしかったと生かしていました。

食育はすぐに成果が出ることはわかりませんが、成果が感じられた時は、栄養教諭としてのやりがいを強く感じます。これからも、長泉町の強みを生かし、チームで子どもたちへわくわくした食育を行っていき



バイキングの事前指導

小中のつながりと多方面と連携し、チームで取り組む食育の充実

長泉町では、食に関する指導の年間計画に沿って、町内全ての小・中学校で2人の栄養教諭が指導をしています。各学年の実態に合わせ、教科等と絡めた内容を設定し、計画的・継続的に実践しています。全ての小学校で同じ指導を受けて中学校へ進めることは、指導のつながりという点で大きな強みです。さらに、中学校の家庭科との連携として、授業

で考えた献立を給食に取り入れていきます。栄養バランスはもちろん、小1から中3までの児童・生徒にふさわしい献立を考えることは、子どもにとってわくわくする活動です。このような本物の取り組みが、子どもたちの食への関心と意欲を高めていきます。また、小学生も中学生が考えたという付加価値が付いた給食に、いつも以上に親しみを感じています。

さらに、中学校の家庭科との連携として、授業

実践NOTE 436

キャリア教育を中心とした学年経営

磐田市立田原小学校
教諭 井浪 和枝

主体性と自信を育むために

本校の6年生には、明るく素直で、諸活動にまじめに取り組み良さがあります。反面、自分の思いや考えを進んで表現することや、主体的に物事に関わることが苦手であり、自分に自信がもてないという課題があります。人から指示されるのではなく、自ら課題を見いだし、「人ものこと」と関わりながら協働的な学びを進めていくことが課題の克服につながるのではないかと考えました。そこで、総合的な学習の時間を核として、大切な小学校最終学年を紡いでいこうと実践を始めました。

「仕事」に関心を抱いた子どもたちは、地産地消をモットーにしている料理人、動物愛に満ちた獣医師など、地元で活躍している方々に仕事についてインタビューしてみました。磐田市の魅力とそこに関わる人々の温かい人柄や、仕事への熱い情熱が伝わり、これからの生き方を模索するきっかけができた。将来への夢も膨らみました。

国語科に「ようこそ私たちのまちへ」という地域紹介パンフレット作りの学習があります。この学習と絡めて、教科を横断し、地域の魅力を探る学習を計画しました。市役所のシティブロモーション課・文化財課・農林水産課・スポーツ振興課・経済観光課等の方々の協力を得て、磐田市の

「よりよい仕事をし、お客さんを笑顔にするために、人とのつながりを大切にしている」という話を聞きました。子どもたちは、「自分たちも仕事を通して保護者や地域の方々、お世話になった人々を笑顔にしたい」と考え、自分たちで会社を起こして、笑顔でもてなしたいと計画を立てました。「仕事」働くことと、「人とのつながり」を形にしたいという強い思いが、行動となって表われてきたのです。



地産地消の料理人の講話



農林水産課の方から学ぶ様子

「仕事」に関心を抱いた子どもたちは、地産地消をモットーにしている料理人、動物愛に満ちた獣医師など、地元で活躍している方々に仕事についてインタビューしてみました。磐田市の魅力とそこに関わる人々の温かい人柄や、仕事への熱い情熱が伝わり、これからの生き方を模索するきっかけができた。将来への夢も膨らみました。

「仕事」に関心を抱いた子どもたちは、地産地消をモットーにしている料理人、動物愛に満ちた獣医師など、地元で活躍している方々に仕事についてインタビューしてみました。磐田市の魅力とそこに関わる人々の温かい人柄や、仕事への熱い情熱が伝わり、これからの生き方を模索するきっかけができた。将来への夢も膨らみました。

7つのグループに分かれ、各グループで販売するものを決め、その生産数値目標、役割分担など計画が具体化していくと、子どもたちの表情は「層真剣になりました」家庭科で習ったソーイングや竹細工で小物が作れるか得意な人に聞いてみよう。「短期間で栽培できる薬物野菜の栽培をしてみよう」など、子どもたちが自ら動き出したのです。

地元の交流センターの力添えを受け、地域の農業関係者を紹介していただき、栽培には土壌



ソーイングを指導する筆者

「よりよい仕事をし、お客さんを笑顔にするために、人とのつながりを大切にしている」という話を聞きました。子どもたちは、「自分たちも仕事を通して保護者や地域の方々、お世話になった人々を笑顔にしたい」と考え、自分たちで会社を起こして、笑顔でもてなしたいと計画を立てました。「仕事」働くことと、「人とのつながり」を形にしたいという強い思いが、行動となって表われてきたのです。

「仕事」に関心を抱いた子どもたちは、地産地消をモットーにしている料理人、動物愛に満ちた獣医師など、地元で活躍している方々に仕事についてインタビューしてみました。磐田市の魅力とそこに関わる人々の温かい人柄や、仕事への熱い情熱が伝わり、これからの生き方を模索するきっかけができた。将来への夢も膨らみました。

子どもたちが積極的に活動することで、地域の人たちの支援の輪と笑顔も広がっていききました。当日は大盛況で、保護者や地域の人々、そして、子どもたちの笑顔があふれた温かい一日となりました。

「仕事」への関心を高めることで育ってきた主体性。子どもたちの「こうしたい」「やってみたい」という思いを縦糸。「人ものこと」と関わることを横糸として、日々の営みの中でたくさんの方の達成感を紡ぎ出していきたいと思えます。それが、子どもたちの自信、自尊心につながる

と信じて…。

日々の営みの大切さ

「仕事」への関心を高めることで育ってきた主体性。子どもたちの「こうしたい」「やってみたい」という思いを縦糸。「人ものこと」と関わることを横糸として、日々の営みの中でたくさんの方の達成感を紡ぎ出していきたいと思えます。それが、子どもたちの自信、自尊心につながる



薬物野菜農家との交流

「仕事」への関心を高めることで育ってきた主体性。子どもたちの「こうしたい」「やってみたい」という思いを縦糸。「人ものこと」と関わることを横糸として、日々の営みの中でたくさんの方の達成感を紡ぎ出していきたいと思えます。それが、子どもたちの自信、自尊心につながる

「仕事」への関心を高めることで育ってきた主体性。子どもたちの「こうしたい」「やってみたい」という思いを縦糸。「人ものこと」と関わることを横糸として、日々の営みの中でたくさんの方の達成感を紡ぎ出していきたいと思えます。それが、子どもたちの自信、自尊心につながる



【社会教育課】

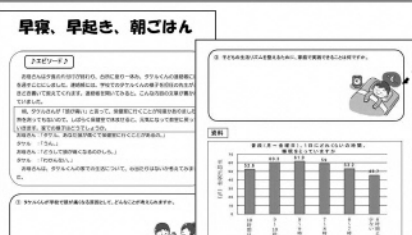
保護者会や懇談会で、保護者の話し合いが充実します 静岡県家庭教育ワークシート「つながるシート」を活用しませんか？



つながるシートはアレンジ可能

「つながるシート」は、子育てや家庭教育について保護者同士が自由に話し合う際に使用するワークシートです。話し合いがスムーズに進むように考えられた内容になっています。話し合いの焦点化や活性化にも効果的で、保護者の学びが深まります。

いろいろなテーマを選べます
「基本的な生活習慣」「親の心構え」「しつけやマナー」「子どものほめ方しかり方」「善悪の判断」「ネットモラル」など



子どもの年齢や参加者の世代による6種類
○乳幼児版 ○幼児版
○小学生版 ○中学生版
○未来の子育て世代版
○シニア世代版

シートの構成
○エピソード
○設問①～③ ○資料

お正月の食べ過ぎ、飲み過ぎで、胃が弱っていませんか？弱った胃にお勧めの食材は、消化を良くする動きのある生姜や大根です。また、体を温める動きのある生姜やネギ、ニンニクも寒い冬にはお勧めです。

静岡県教育委員会表彰式を開催しました!

静岡県教育委員会では、教育の振興に貢献した方や、スポーツ、学問等の各分野で全国規模の大会などに出場し、優勝又は最高位を受賞した個人・団体の功績をたたえるため、「静岡県教育委員会表彰」を実施しています。

今年度は、個人・団体を合わせて38組が受賞し、11月22日(金)に県庁で表彰式を開催しました。受賞者を代表して挨拶した、富士宮西高校の遠藤駿介さんは、友人や先生に感謝を示すとともに、「ピプリオバトルの参加を通じて、自分に自信が付き、人に気持ちを伝えることの大切さを学ぶことができました」と語りました。また、表彰式に引き続き行われた懇談会では、参加者らが、活動に向けた思いやうれしかったこと、苦労話や今後の抱負などを語り合い、楽しい時間を過ごしました。

◇地域での交流活動に貢献された方を表彰◇

県内には、さまざまな体験活動や交流活動を実施し、子どもたちが地域社会の中で健やかに育つための環境づくりに貢献している個人や団体の方々がいっぱいいます。

今回は、長年にわたり地域住民と児童の交流活動を続け、教育の振興に貢献された団体を表彰しました。



地域交流イベントを行う藤枝の「ふれあいサタデーパーク」さん

◇各種全国大会で県内の児童生徒が大活躍◇

今年度も高校総体やJOCジュニアオリンピックカップといったスポーツ分野だけでなく、総合文化祭や農業クラブ全国大会を始めとした文化・学問分野でも、多くの子どもたちが輝かしい成績を収めています。その中でも、大会で最も優秀な成績を収めた児童生徒を表彰しました。



高校総体の相撲競技個人戦で優勝した大桑さん

今年度表彰された皆様を教育総務課のホームページで紹介しています。ぜひご覧ください!

<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-010/iinkai-hyoushou.html>



【教育総務課】

PTAと連携したお茶講座の開催

～裾野市内のモデル小学校での取り組み～

裾野市立東小学校と富岡第一小学校は、文部科学省の「令和元年度つながる食育推進事業」のモデル校として、学校と家庭が協力し、児童に対するお茶の食育に取り組んでいます。

裾野市立東小学校での取り組み

6月12日(水)に家庭でお茶を通じた食育を進めることを目的に、地元茶業者を講師として、保護者向けに静岡茶講座を開催しました。

講座に参加した保護者の皆様からは、「急須の使い方を覚えるだけで、家庭で使っているお茶をいつも以上においしくいただけました」、「おいしいお茶をとて簡単に入れることができたので、茶処静岡で育っている子どもにも教えていきたい」、「静岡人として親から子へ、教えていくことが大切だと思った」などの感想をいただきました。

また、保護者の方々が、学んだお茶の知識を活かして、後日、児童への指導をサポートしてくれました。学校現場では、家庭との連携や教諭を支援する体制づくりが課題となっていますが、こうした事例がひとつの解決策になると期待されます。



裾野市立富岡第一小学校の取り組み

10月26日(土)に親子で参加する家庭教育学級において、地元茶業者によるお茶講座を開催しました。

茶業者の説明を聞き、茶葉の量やお湯の温度などの型にこだわりすぎず、家庭で気軽にお茶を楽しむ方法を、親子で実践しました。参加した親子は、親が子どもに教えながらお茶を一緒に楽しむ時間を過ごしました。



また、10月28日(月)に開催した学校保健安全委員会でも、保護者が参加してお茶の食育を実施しました。

委員会では、校内の6年生を対象に実施したアンケート調査の児童による結果発表や、ふじのくに茶の都ミュージアムの白井副館長による出前講座が行われました。児童の発表では、お茶について知っていることとして、静岡県はお茶の生産量日本一、お茶は体に良い、カテキンが風邪予防に効果がある、お茶の葉は掃除に使える、といった意見が紹介されました。

2校の取り組みを参考に、お茶を通じた食育の推進をお願いします。

【経済産業部 お茶振興課、健康体育課】

令和2年度「WAZA(ワザ)チャレンジ教室」実施校募集!

プロに学べ! 世界で1つだけのものづくりにチャレンジしよう!

技能士が小・中学校、特別支援学校に出向いてものづくり体験教室を実施します。アートモザイクや小座布団など10種類以上の製作物を取りそろえています。

令和元年度も39校2,431人の児童生徒に対し、総合的な学習の時間や学校行事としてご利用いただきました。児童生徒からは「プロの人はやっぱりすごい!世界に1つしかない自分の作品を見て、とてもうれしかった」「難しかったけど、やり始めたら夢中になってしまった」といった声が寄せられています。先生方からも「作ることの大変さと達成感を味わうことができよかった」「一人ひとりに親切・丁寧に教えていただいた」といった感想をいただいています。ぜひお申し込みください!

- 募集期間 令和2年1月～令和2年2月
※各学校に募集案内を送付します
- 実施期間 令和2年5月下旬～令和3年2月下旬
- 対象 小・中学生(小5以上)、特別支援学校生
- 会場 校内各教室等
- 定員 20人～40人程度/1製作物
※同日に複数の製作物をお申し込みできます
- 費用 300円～1,500円/1人(材料費実費)
- 問い合わせ先 経済産業部職業能力開発課
TEL 054-221-2954 FAX 054-271-1979
Mail syokunow@pref.shizuoka.lg.jp
- ウェブサイト 過去の教室の様子はこちらをご覧ください。
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-230/wazachare/index.html>



玉子焼きに挑戦!(日本調理技能士会)



紋様こて砂絵(左官技能士会)

子どもの体験型防犯講座「あぶトレ!」大好評開催中!!

近年毎年発生している子どもを巻き込む重大事件から子どもたちが身を守るようにあなたの学校でも「あぶトレ!」を開催してみませんか?

今年で開催7年目だニャ!!



「あぶトレ!」とは?

あぶないときにどうするかを身に付けるトレーニングのことです。

県では、子どもの安全確保を図るため、子ども自身が「犯罪に遭わないための知識」や「万が一犯罪に遭遇したときに自分の身を守る方法」を実際に体験しながら学ぶ「あぶトレ!」を開催しています。

地域の防犯ボランティアの方々が防犯の知識・技術を学び講座を実施!!

学校で子どもたちに防犯の指導ができるように県内各地の地域の防犯ボランティアの方々が、子ども防犯の専門家から犯罪者の視点や行動、防犯の知識及び技術、指導方法を学び、講師として講座の中心となり小学校及び特別支援学校で「あぶトレ!」を実施しています。



大声で助けを呼ぶ練習



走って逃げる練習

○実施校の先生や子どもの声

- ・子どもたちが自分の身を自分で守る方法を具体的に知ることができた。
- ・実際に不審者に遭遇した児童が、防犯ブザーを鳴らして危険を回避した。
- ・不審者との距離感や実際に捕まったとき、どうするか学べた

あなたの学校でも「あぶトレ!」を開催してみませんか?

地域の力で子どもたちに悪者から自身を守る力を身に付けさせましょう。

「あぶトレ!」の詳細は、下記担当課までご連絡ください。

担当: ぐらし・環境部ぐらし交通安全課 TEL 054-221-3715

HPでも実施の様子を公開しています!!

HP <https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-110a/abutore.html>

この子に悪さは無理だ!! あきらめよう!!



私の学校紹介します

給食レシピ編



トクサンジャ〜参上!

Eジャーナルでは、皆さまの学校についての取り組みを募集しています。今回は2校の学校の取り組みを紹介します。ぜひEジャーナルを学校のPRにご活用ください! 問い合わせ先 教育政策課 TEL 054-221-3674

浜松市立東部中学校

三方原台地の赤土と豊富な日照量のもとで育った「三方原馬鈴薯」は、見た目は肌(皮)がきれいで、味はでんぷん質が多く、ホクホクしています。

三方原ばれいしょのポタージュ



使用する材料(4人分)

- ベーコン 30g
- じゃがいも 2個
- 玉ねぎ 1個
- バター 4g
- パセリ 少々
- 牛乳 160cc
- 塩 小さじ1/2
- こしょう 少々
- パイオン 24g
- 水 1カップ
- 生クリーム 少々

作り方

- たまねぎはうす切り、じゃがいもは1cmくらいのいちょう切り、ベーコンは短冊切りにする。
- バターで、ベーコン、たまねぎを炒める。
- 水、パイオン、じゃがいもを加え、じゃがいもが軟らかくなるまで煮る。
- ③をミキサーにかけてなめらかにする。
- ④を再び火にかけ、煮立ってきたら火を弱め、煮込む。牛乳を加える。
- 最後にみじん切りにしたパセリ、塩、こしょう、生クリームを加えて火を止める。

長泉町立長泉小学校

2面には鈴木紀子栄養教諭の取り組みを掲載!

あしたか牛と大和芋の炒め物



使用する材料(4人分)

- あしたか牛こま切れ 170g
- 大和芋(皮むき) 80g
- にんじん 中1/3
- 油揚げ 1枚
- しらたき 1/3袋
- さやいんげん 7~8本
- だしの素 1.2g
- こめサラダ油 少々
- しょうゆ 大さじ1
- 三温糖 小さじ2弱
- 本みりん 小さじ1
- 清酒 小さじ1

作り方

- 牛肉に清酒をふっしておく。
- 大和芋とにんじんは精肉(せつにく)にする。さやいんげんは2cm幅に切って下茹でしておく。
- 油揚げは油抜きし短冊切りにする。
- しらたきは下茹でし、食べやすい大きさに切る。
- ①を炒める。
- にんじんを入れ、火が通ったら大和芋を入れて炒める。
- ③④を入れてひと混ぜしたら、調味料を加える。
- 最後にさやいんげんを入れて炒めたら完成。

学び続ける教職員へ

~参加者募集中~

静岡県総合教育センター 令和元年度 研究報告会<2月21日(金)>

総合教育センターは、学校・先生への還元を目的に研究を行っています。「深い学び」の授業改善に関する研究や、不登校の予防と対応に関する研究等の成果を報告します。最新の研究成果から、課題解決のヒントを持ち帰ってください。

- 日時 令和2年2月21日(金)午後1時10分~4時20分
- 会場 静岡県総合教育センター(掛川市富部456番地)
- お申込み 「申込書」を本センターHPからダウンロードし、各所属で参加者を取りまとめの上、電子メールで提出してください。(1/31まで)
- ・本報告会は分科会での開催です。お申込み時に、希望する分科会を3つお選びください。

□問い合わせ先 総合教育センター 生涯学習企画課企画班 TEL 0537-24-9706



「外国人の子ども支援員養成講座」受講者募集!

県では、困難を抱える子どもを学校内で支援することができる人材(支援員)の増加を目指し、下記のとおり初期日本語指導方法等を学ぶための講座を、県内3か所で開催します。講座修了者は、「外国人の子ども支援員」として県教育委員会に登録され、支援員を必要とする市町等に紹介する予定です。

- 日時 第1回2月17日(月) 第2回3月2日(月) 第3回3月16日(月) いずれも13時30分~16時
- 会場 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階第3会議室
- 内容 第1回 初期適応指導、日本語基礎指導 ~文字表記(ひらがな・カタカナ・漢字)~
- 第2回 日本語基礎指導2 ~動詞と初級の文型~
- 第3回 日本語基礎指導3 ~形容詞と副教材の使い方(こそあど)~
- 対象 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導に関心のある方(各会場定員40人程度)
- 問い合わせ先 (公財)静岡県国際交流協会 TEL 054-202-3411

野外教育指導者養成講習会

キャンプ、登山、ハイキングなど様々な野外活動を行うときに必須の二つのスキルを学びます。地図を正しく読み、適切なコースプランニングをする「ナビゲーションスキル」と、危険を予測、評価しコントロールする「リスクマネジメント」。それぞれの分野の第一線で活躍する講師陣から実践的に学びまたとない機会です。

- 募集期間 令和2年1月30日(木)まで
- 実施日 令和2年2月8日(土)~2月10日(月)2泊3日
- 会場 静岡県立朝霧野外活動センター
- 定員 25人(事前申込が必要)
- 費用 8,500円
- 問い合わせ先 静岡県立朝霧野外活動センター TEL 0544-52-0321

詳細は朝霧野外活動センターホームページまで



親子で体験教室~大人も子どもも一緒に学ぼう、一緒に遊ぼう~

親子で学んで、親子で遊ぶイベントです。学びの時間(大人はネットや栄養についての講演会、子どもは遊び運動教室)の後、親子一緒にたき火を楽しみます。焼き芋や焼きリンゴなどを親子で作りましょう!

※講演のテーマは第1・3回「スマホのある子育てについて」、第2・4回「未来のアスリートのための栄養基礎講座」を予定しています。(各回内容は異なります。)

- 募集期間 各回実施日の4日前まで
- 実施日 ①1月13日(月・祝) ②1月19日(日) ③2月9日(日) ④2月16日(日) 各回午前9時から12時頃まで
- 会場 静岡県立焼津青少年の家
- 定員 各回50組程度(事前申込が必要)
- 対象 ①③幼稚園(年長)~小学3年生の親子、②④小学生の親子
- 費用 無料(たき火で作って食べたい物の材料は各自お持ちください。)
- 問い合わせ先 静岡県立焼津青少年の家 TEL 054-624-4675



詳細はこちら

令和2年度「グランシップ子どもアート体験!」応募受付中!

広告

グランシップでは、国内外の第一線で活躍する芸術家とともに県内の小中学校や特別支援学校に出向き、本物の文化芸術をお届けするアウトリーチ事業を実施しています。現在、令和2年度の実施希望校を募集しています。音楽や伝統芸能、文芸など多彩なプログラムをご用意。詳しい募集要項や応募用紙は、全小中学校、特別支援学校に郵送しています。また、グランシップホームページからもごらんいただけます。不明な点は、メール・電話にてお問い合わせください。

まもなく締め切り、ご応募はお早めに! 応募締切:2020年1月31日(金)



【募集プログラム】●グランシップアウトリーチ登録アーティスト学校プログラム●「人形浄瑠璃 文楽」出前講座 ●狂言ワークショップ●六代目宝井馬琴監修 講談教室●玉川奈々福の浪曲教室●連詩をつくらう!ワークショップ お問い合わせ (公財)静岡県文化財団・グランシップ 企画制作グループ 担当:渡邊 TEL.054-203-5714 MAIL.info@granship.or.jp